

配管技能  
コンテスト

# 35人が腕を競う 大空衛「レベルの高さ実感」



大阪空気調和衛生工業協会（大空衛、池田隆之会長）は20日、大阪府東大阪市にある府立東大阪高等職業技術専門学校で「第12回配管技能コンテスト」を開いた。写真。現役配管工を対象とする「一般の部」に17人、未来の技能者を口指す「学生の部」には大阪府と滋賀県の工業系高校などから18人が参加し腕を競った。その結果、一般部門は江口昌弥さん（ツカサ）、学生部門は東住吉総合高3年の龍野美玖さんがそれぞれ優勝を飾

一般の部入賞者ら



学生の部入賞者ら



った。日本空調衛生工業協会近畿支部との共催事業で、コロナ禍により一昨年、昨年と実施を見送ったため、3年ぶりの開催となった。

部門の上位5者に表彰状などが贈られた。審査委員長を務めた小池清隆布施工科高校教諭は、講評の中で「上位成績者の誤差は僅差で、レベルの高さを実感した」と述べ、参加者たちの健闘を称えた。

開催に先立ち、あいさつに立った大空衛の沼原保豊副会長は「現役の配管工と建築設備を学ぶ学生が一堂に会し、技能を競うコンテストは全園でも当協会だけが実施しているもの。皆さんの技術力が切磋琢磨（せつさくま）され、一段と向上されることを願っている」と激励した。

優勝者を除き1位入賞者は次のとおり（敬称略）。

（一般の部）  
 ▼準優勝1加藤洋（大谷設備）  
 ▼第3位1松尾浩二（KOSÉI）  
 ▼第4位1杉浦巧馬（藤井設備）  
 ▼第5位1前田入輝（ツカサ）  
 〈学生の部〉  
 ▼準優勝1中田結斗（布施工科高3年）▼第3位1有村瑠記（布施工科高3年）▼第4位1吉田陸人（彦根工高2年）▼第5位1田淵大輝（大阪工業技術専門学校2年）。

参加者は一般部門が3時間、学生部門は2時間30分の制限時間内に配管を使った課題作品を製作することが求められた。審査員らば出来栄への確認と寸法を確認、水圧試験による水漏れチェックなどを行い、厳正な審査の結果を